

- 1 … 全国高等学校選手権大会・市立浦和  
第2回埼玉県4種選手権大会  
2009年の挨拶 副会長・専務理事 横山謙三
- 2 … 全国高等学校選手権大会・総評  
インターハイ総括及び高校選手権埼玉県予選ゲーム分析
- 3 … 4種リーグ・選手権大会終了  
U-10キッズエリート開催
- 4 … 第4種委員会より
- 5 … 外部指導者の活動報告・大会記録
- 7 … 技術委員会より・審判委員会より
- 8 … インフォメーション・編集後記



●発行/発行人：会長・相川宗一 編集人：高橋 明 ●発行所/(財)埼玉県サッカー協会 住所：〒330-0074さいたま市浦和区北浦和1-21-18雁ヶ音ビル204号室  
Tel048-834-2002・Fax048-834-2004 http://www.saitamasfa.com/(年間購読料1500円)

## 市立浦和、初戦突破ならず ～全国高校選手権大会～

第87回全国高等学校サッカー選手権大会の2回戦に、埼玉代表のさいたま市立浦和高校が登場。地元、埼玉スタジアム2002で滝川二高(兵庫)と対戦した。

市立浦和は、全員がハードワークを続けて滝川二高を追い詰めたが、決定的なチャンスに得点できないまま80分を終え、PK戦へ。残念ながら4-5で市立浦和が敗れた。(※2ページに関連記事)



## 大宮アルディージャジュニアが優勝! ～第2回埼玉県4種選手権大会～

今年で2回目を迎えた「埼玉県4種選手権大会」は、12月23日、埼玉スタジアム2002において準決勝と決勝戦が行われた。

準決勝は、大宮アルディージャジュニアが、すみれジュニアFCに4-0で勝利すると、レジスタFCがネオスFCを延長の末、4-2で勝利した。決勝は、大宮アルディージャジュニアがレジスタを4-0で勝利し、初優勝を果たした。



## 2009年の挨拶～高校選手権を振り返る

副会長・専務理事 横山 謙 三

### 敗れはしたが市立浦和の戦いぶりは埼玉の誇り

今年の高校選手権では、どの試合にも、攻守のバランスやリズム、チーム戦術、選手のアイデアなど、面白い場面が随所に見られました。個性的な選手やタレント性を感じさせる選手などが多数おり、将来に期待を持たせてくれました。

中でも決勝戦は見応えのあるいい試合でした。しかし、ひとつ残念だったのは、最後の5分間に時間稼ぎの光景が見られたことです。目先の勝利にとらわれて小細工に走るのではなく、最後の最後まで戦う姿勢を貫き通して欲しかったと思います。

日本のサッカーが世界に挑戦していくには、最後のホイッスルが鳴るまで一瞬たりとも手を抜くことなく戦い抜く、という厳しさが必要です。特にU-18の年代では、全力を尽くして最後まで正々堂々と戦う姿勢が大切です。試合は勝負を賭けた戦いですが、サッカーは人間形成の場でもあります。そのことを、指導者も選手も忘れてはなりません。

埼玉代表の市立浦和は、持てる力をフルに出して戦ったと思います。激しい試合ではありましたが、警告はゼロ。高校生らしい、清々しい戦い方は賞賛に値するものです。全力を尽くした選手たちは実に爽やかでした。1試合目で敗退してし

まったのは残念でしたが、たとえ試合に敗れても、良いものは良い、と正しく評価しなければなりません。これは埼玉の誇りです。選手全員と指導者に対して、よく戦った、と心から言いたいです。

また、個々の選手のタレント性という面でも、市立浦和は他県に決して劣ってはいません。今後の成長が大いに期待されます。

しかし、やはり勝負の世界です。1試合目で敗れた悔しさは持ち続けなければなりません。運動量の多さや規範面では優れていましたが、戦い方という面においては課題が見つかった試合でした。戦い方の工夫によっては勝てる可能性もあった、と感じました。

今回ベスト4に残った広島・茨城・群馬の3県には、Jクラブがあります。Jクラブのある地域の高校が勝ち抜いてきたことを、私たち埼玉県も参考にし、努力しなければなりません。

目指すべき方向は、世界に通用する選手の育成です。そのためには、最後の5分間を、全力を尽くして戦うという姿勢を、この年代のうちから養うことが不可欠です。日本のサッカーの将来に明るい材料と多くの課題が発見できたことは、この大会の収穫でした。

最後になりましたが、今大会に多大なご尽力をいただきました高体連の皆さまをはじめ、関係者の方々に対し、心からお礼を申し上げます。

## 2008年第87回全国高等学校サッカー選手権大会・総評 —全国と埼玉の比較—

(財)埼玉県サッカー協会2種技術委員長 福田直史(県立栗橋高校)

第87回全国高等学校サッカー選手権大会は、準決勝で前橋育英に見事な逆転勝ちをした鹿児島城西と鹿島学園を無失点に抑え最少得点で勝ち進んだ広島皆実との決勝となった。白熱した試合展開が試合終了のホイッスルまで続く両者互角の戦いとなったが、堅守の広島皆実が、奪ったボールを効果的に前線に運び得点を重ねたのに対し、鹿児島城西は、華麗なパスワークから鹿島アントラーズ入団内定の犬迫勇也の大会新記録となる得点などで対抗する。広島皆実は先制点を奪われたが粘り強い守備からの効果的な攻撃で逆転して、3対2で勝利して悲願の初優勝を成し遂げた。

今大会はベスト8に関東3・東海1・近畿1・中国1・九州2が勝ち上がった。PK戦が8試合、逆に3点差以上の試合が14試合で、力の差がある試合が多かったように思える。大量得点する試合が多く、攻撃力が過去の技術分析などからよく改善され、各チームともより向上していることもいえるが、裏返すと過去の全国大会を見てきて感じることは、①ミスによる失点が非常に多いこと、②個のディフェンス力が低いことが高校サッカーの現状としてまだまだあると感じている。どの大会でも、ディフェンス力が強いチーム・リアクションサッカーがうまいチームが上位に進出している。攻撃の個人技術・戦術は確かに上がっていることは事実ではあるが、守備の個人技術・戦術は低い。マスコミを中心とした過剰な盛り上がりで、まだまだ課題の多い選手たちをスター扱いするケースが多いが、高校卒業後の5～6年こそが選手の成長にとって一番大切なことをもっと強調して欲しいし、指導者は外野の声に惑わされずに将来性を見据えた指導をして欲しい。



その中で埼玉代表となった市立浦和は守備力で頑張るチームだった。1回戦でPK戦の末敗れたが、試合内容としてはベスト8入りした滝川第二と互角以上に戦えたことは、埼玉県予選終了から1か月で、守備を中心によくレベルアップしたと思う。特に攻守両面においてキャプテンの徳島翔は、1、2回戦の埼玉会場で試合した6チームの選手の中ではNo.1の選手だった。今後さらに成長してもらいたい。しかし、残念ながらその他の選手については、優秀選手の候補にあがるようなパフォーマンスは見られず能力不足であった。特に攻撃の連続性が個人のミスにより途絶えてしまい、得点できず敗れたことは市立浦和の来年度への課題としてもらいたい。

今大会、埼玉出身選手が、鹿島学園には2名、前橋育英には5名、帝京には2名がスタートメンバーとして出場していて、優秀選手にも前橋育英の2名が選ばれ活躍していることはうれしいことではある。しかし、埼玉にこれらの高校よりも魅力のある学校がないのだとすれば寂しい限りである。その他にも、青森山田・流通経済大柏・國學院久我山・成立学園・静岡学園などにも選手は流れている現状だ。

2年前にU-16化された兵庫国体で、圧倒的な攻撃力があっ

たが勝てなかった国体チームの中心選手が数多く所属していた浦和レッズユースは、今年度の高円宮杯U-18で全国優勝した。これにより埼玉のレベルの高さは証明されたが、その次に続くセカンドレベルのチームも全国に通用するレベルに引き上げることが、「サッカー王国埼玉」に近づけることになるかと確信している。技術委員会としても、4種・3種・2種と連携を深め、プロ選手を数多く輩出できるようにできる限りの努力を続けるので、全国を狙うチームも強く意識して努力して欲しい。

さて、新人戦県大会を前に今年度を予想したい。ベスト4クラスが武南・埼玉栄・正智深谷・西武台の私立勢であり、それに続くベスト8クラスの県立が市立浦和・浦和東・大宮東・伊奈学園で、私立が花咲徳栄・浦和学院・聖望学園・本庄第一が続き、ベスト16クラスが不動岡・浦和・川越南・深谷第一・大宮南・川口北・浦和南・飯能南などが続く。その他話題性のチームは、昌平・国際学院・東京成徳深谷・早稲田本庄・農大三・西武文理などの私立があり、県立では浦和、春日部・川越・熊谷などの各地域のトップ校の頑張りを楽しみである。10ヵ月後にどのチームが全国上位を狙えるチームに成長しているか。レベルも非常に僅差であるので監督・コーチ・スタッフの技量が問われる戦いになるだろう。勝つチーム作りとともに、チームから一人でも多くのプロ選手・大学選手を出せるように努力して欲しいものである。

### 「平成20年度インターハイ総括及び高校選手権大会(埼玉県予選)ゲーム分析」を行う

県技術委員会では、12月5日、埼玉スタジアム・ボールルームにて、初の試みとして「ゲーム分析」を行った。参加者は選手権ベスト32チームの監督と3種指導者の約40名。

まずは福田直史・2種技術委員長から、インターハイにおけるゲーム分析とチーム評価が行われた。次に小林武・技術委員長より、選手権でのゲーム分析が行われた。GKからのディストリビューション(配球)、プレーの連続性、攻守の切り替えの早さなどが課題に挙げられた。

ここで小林委員長から「埼玉の選手でも十分に全国で通用するものを持っている。あとはいかに指導者が選手を強くたくましく成長させられるかが課題」と結論づけた。

続いて、決勝トーナメント進出監督から一言ずつもらおうディスカッションとなり、それぞれの戦い方の紹介があった。

また3種の指導者から、中学年代では県トレセンに呼ばれなかった選手が県外に出て活躍している事例が出され「高校の指導者は選手の何を見ているのか」という問題提議もされた。

そして野崎正治・技術委員会強化部長から「まずは自分のチームを知ること」「ハーフタイムをどう使うか」というアドバイスがされた。

最後に埼玉代表となった市立浦和の池田一義監督に、全員でエールを送った。同時にこの会を09年度も続けることが提案され、終了した。



# 4種リーグ・選手権大会終了

秋山和雄4種委員長に聞く

アルディージャジュニアの優勝は画期的  
09年はU-10リーグにも着手

ている人たちは、相変わらず『出るな』と言っているようですが、今年では徹底的にやり合うつもりです。もっといい環境を子供たちに与えたいですからね]

—まず08年の4種リーグ/選手権大会を振り返っていただけますか。

「07年は暗中模索という状態でしたが、2年目となり、運営そのものがスムーズになったようです。苦情が減りました。日程も大変だったようですが、なんとか終えて、選手権大会となりました。



あと、07年は週末にまとめて試合をしていたブロックや地域がありました。月1回程度に分散してくれるようになり、M-M-Mではなくなったと思います。それだけに、もっとチームでトレーニングをしてもらいたいものです。

少し話がずれますが、自己満足で終わっているコーチがまだいるようです。もっと若いコーチを、デモンストレーションのできるコーチを入れて、子供たちを伸ばしてもらいたいものです。この年代で、ボールを蹴る、止める、運ぶを身につけさせてもらいたいのです。子供たちにとっても、また指導者にとっても一番つまらない練習かもしれませんが、一番大事なことだと思っております」

## 上手になりたい子供たちがいる

—どうしても「トレーニングよりも試合」というチームは多いですね。

「子供たちを見てみると、技術はドンドン向上しています。そういう子供はクラブに多いように見えます。トレーニングの回数が多いこともあるでしょうが、一生懸命教えています。それでクラブそのものが残っていると言っているでしょう。子供たちとしても魅力のあるチームに流れていますし、『少年団だ』と胡座をかいている場合ではないでしょう。“仲良しクラブ”でもいいでしょうが、その中でも『上手になりたい』と思っている子供はいます。そういう子供を潰さないでほしいものです。

ですから、トレセンはチームからの推薦方式ではなく、担当者によるピックアップ方式に変えていく必要があるのではないのでしょうか」

—年間の日程をリーグ戦中心にしていけば、必然的に活動はチーム中心となり、トレセンそのものの見直しも迫られることでしょうか。

「そうです。定期的な活動をしなくても、どこに誰がいるのかわかっていけばいいのですからね」

—さて08年はアルディージャジュニアが優勝しました。

「画期的なことだと思います。チームとしては一番だと思います。夏の関東大会でも他とは違いましたからね。アルディージャジュニアにどのチームが食らいついていってくれるかが楽しみです」

—09年度に向けて一言いただけますか。

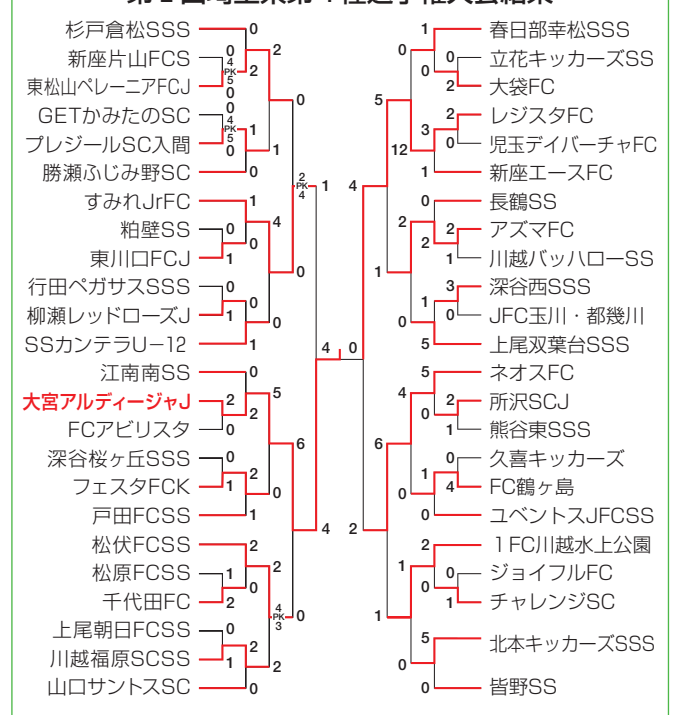
「09年はさいたま市北部からも出場チームが増えるでしょう。徐々にですが、意識が変わっていると思います。昔から活動し

—ホーム&アウェイの確立はまだ難しいそうですね。

「グラウンドが取れませんからね。だから集中開催をせざるを得ません。それでも、少しずつやっていこうというチームが出てきています。あと1ブロックのチーム数は、まだ8が限度でしょうか。大会の整理が急務だと思います。

個人的には、一つのグラウンドに3チームが集まり、2試合ずつやってくれればと思っています。連続で試合はできませんから、その合間にU-10リーグを行ってこればうまいくのではないのでしょうか」

## 第2回埼玉県第4種選手権大会結果



## U-10キッズエリート開催

～09年、U-10リーグ開始に向けて～

12月24日、4種選手権大会の合間に埼玉スタジアム第2と第3グラウンドを利用し、U-10キッズエリートを開催した。今回各ブロックで優勝した47チームに昨年度優勝の川越イーグルファイターを招き、48チームで1ブロック4チームの総当たり戦を行った。時間は8分。7対7だが、交代は自由。グラウンドのあちらこちらから大きな歓声が上がった。この年代から「公式戦」をリーグ戦で体験できれば、たくましい選手が育つのではないだろうか。



## ■第4種委員会より

第4種登録チーム 代表者 各位

### 埼玉県大会の参加資格について

標記について、従来から大綱のみを明記して各チーム指導者等のモラルに期待しているところであるが、最近この規定を歪曲して解釈し裏をかくような事象或いは手続き上のミスが顕在化している。

このことに鑑み、2009年度に予定される埼玉県大会の参加資格を下記のとおり具体的に定めて、各チームの次年度登録及び事業計画作成の準拠を提供する。

なお、下記に示す内容は地区一次予選から適用するので、念のため申し添える。

記

#### ◇ 第33回全日本少年サッカー大会埼玉県大会

- ① 2009年度財団法人日本サッカー協会第4種又は女子(小学生)登録済で、年間を通じて継続的に活動している単一チームであること
- ② 選抜チーム(複数チームの所属選手で構成し、年間を通じて活動しないで本大会への参加のみを目的としたチーム)の参加は不可とする。
- ③ 前①のチームに所属する選手であり、財団法人日本サッカー協会発行の選手証を有し、スポーツ傷害保険に加入済であること
- ④ 第33回全日本少年サッカー大会参加申込書提出後の選手変更は認めない。

#### 【確認要領】

- (1) 地区予選運営責任者は、一次予選参加申し込みチームの参加資格について確認し、疑義がある場合は直ちに第4種委員長に報告する。  
第4種委員会の審査により参加の可否を決定する。
- (2) 参加チームは、各試合開始前に参加全選手の選手証を大会本部に提示して確認を受ける。

#### ◇ 第38回埼玉県サッカー少年団大会

- ① 2009年度埼玉県スポーツ少年団に登録済のチームであること
- ② 前①のチームに所属する選手であり、13歳未満の小学生で、スポーツ傷害保険に加入済であること
- ③ スポーツ少年団登録に併せてサッカー協会第4種登録済の選手は、(スポーツ少年団登録済の)第4種登録チームの構成員として参加しなければならない。  
女子(小学生)登録済の選手は、スポーツ少年団登録チームの構成員としての参加を認める。
- ④ 転校又は転居による場合を除き、本大会予選開始以降の移籍登録選手の参加は不可とする。

#### 【確認要領】

- (1) 地区予選運営責任者は、一次予選参加申し込みチームの参加資格について確認し、疑義がある場合は直ちに第4種少年連盟会長に報告する。  
第4種少年連盟理事会の審査により参加の可否を決定する。
- (2) 地区予選運営責任者は、組み合わせ抽選前までに、参加申し込みチームの「(受付済の)スポーツ少年団登録用紙(1号用紙)」を確認する。
- (3) 参加チームは、各試合開始前に前2の「団登録用紙」を大会本部に提示して確認を受ける。  
この際、前③の第4種及び女子(小学生)登録済の選手については、同時に日本サッカー協会発行の選手証を提示して確認を受ける。

#### ◇ 第4回埼玉県第4種新人戦

- ① 2009年度財団法人日本サッカー協会第4種登録済のチームであること
- ② 前①に所属する選手であり、財団法人日本サッカー協会発行の第4種又は女子(小学生)の選手証を有する小学校5年生以下で、スポーツ傷害保険に加入済であること
- ③ 女子(小学生)登録済の女子登録チーム所属選手については、(第4種登録済の)スポーツ少年団登録チームに所属している場合は、そのチームの構成員としての参加を認める。
- ④ 転校又は転居による場合を除き、本大会予選開始以降の移籍登録選手の参加は不可とする。

#### 【確認要領】

- (1) 地区予選運営責任者は、一次予選参加申し込みチームの参加資格について確認し、疑義がある場合は直ちに第4種委員長に報告する。  
第4種委員会の審査により参加の可否を決定する。
- (2) 参加チームは、各試合開始前に参加全選手の選手証を大会本部に提示して確認を受ける。  
この際、前③の女子選手については、同時に「(受付済の)スポーツ少年団登録名簿(3号用紙)」提示して確認を受ける。

#### ◇ 平成21年度埼玉県第4種リーグ戦

- ① 2009年度財団法人日本サッカー協会第4種登録済のチームであること
- ② 前①に所属する選手であり、財団法人日本サッカー協会発行の第4種又は女子(小学生)の選手証を有する者で、かつスポーツ傷害保険に加入済であること
- ③ 女子(小学生)登録済の女子登録チーム所属選手については、(第4種登録済の)スポーツ少年団登録チームに所属している場合は、そのチームの構成員としての参加を認める。
- ④ 転校又は転居等による場合で、地区運営責任者の承認を受けた場合を除き、本リーグ戦開始以降の移籍登録選手の参加は不可とする。

#### 【確認要領】

- (1) 地区運営責任者は、参加申し込みチームの参加資格について確認し、疑義がある場合は直ちに第4種委員長に報告する。  
第4種委員会の審査により参加の可否を決定する。
- (2) 参加チームは、各試合開始前に参加全選手の選手証を大会本部に提示して確認を受ける。  
この際、前③の女子選手については、同時に「(受付済の)スポーツ少年団登録名簿(3号用紙)」提示して確認を受ける。

#### ◇ 第3回埼玉県第4種サッカーリーグ選手権大会

- ① 埼玉県第4種リーグ戦における各ブロックの1位チームとする。ただし、1位チームが参加できない場合は、当該ブロックの次位チームが順次繰り上がるものとする。
- ② 埼玉県第4種リーグ戦エントリー表(最終版)に記載されていない選手の参加は不可とする。

#### 【確認要領】

- 参加チームは、各試合開始前に参加全選手の選手証を大会本部に提示して確認を受ける。  
この際、前「埼玉県第4種リーグ戦」③の女子選手については、同時に「(受付済の)スポーツ少年団登録名簿(3号用紙)」提示して確認を受ける。

以上

2008年11月29日

財団法人埼玉県サッカー協会第4種委員会 委員長 秋山和雄

## ■外部指導者の活動報告 Vol.2 ～青木宏至氏～

今回は、春日部市立武里中学校で指導をしていただいている青木宏至氏に登場していただいた。青木氏は浦和市立高校から日本大学に進み、古河電工でプレー。現在もシニアでプレーされている。

「子供たちを上手くしなければならぬとは考えていません。『サッカーをしたい』という意識を持っている子供たちを指導したいと思っています。今は、個人のスキルを上げたいと考えているところです。現在、月曜日に行っていますが、イレギュラーで水曜や金曜も指導しています。

人数は25人程度。利用できるグラウンドは1/4らいでしょうか。もともと広いのでハーフコートくらいはあります。最初の3カ月はステップワークやコーディネーションをやり、この1カ月は1対1に取り組んでいます。サッカー経験のある子供が少ないので、蹴る、止めるをしたいのですが、そこからやると時間がかかってしまいます。やりながら身につけてもらう努力をしているところです。1週間に一度ですから、ジレンマはあります。

春先から見ればよくなっています。まだ13才、14才、希望は持てます」

顧問・鬼丸豊次さん

「1時間半の練習のために、往復で2時間をかけて来ていただいで感謝しています。会議などで、なかなか一緒にグラウンドに立つことができないのですが、個人的には指導に関する話し相手ができてよかったですね。勉強させていただいています。

もともとこの制度は、指導者がいない学校に向けてだと思ひ、遠慮していましたが、お願いしてよかったと思っています。ですから、事ある毎にこの制度の良さをアナウンスしていますが、自然と話が『青木さんってすごいんだよ』という内容になってまいります(笑)。

私はもちろん、子供たちは青木さんの立ち振る舞いを見て、情熱を感じています。デモンストレーションもあり、口だけの指導ではないのです。だから子供たちには『みんなが頑張っているから、そのやる気に応じてもらっているんだ』と言っています。あれこれ言っても子供たち次第ですからね。私としては、青木さんと子供たちの間に入り、フォローさせてもらうことも大事な仕事。熱心に指導していただき、私も勉強させていただき、感謝しているところです」

## 大会記録 ● 県内大会

### 1種

#### 県リーグ昇格降格決定戦 県リーグ1部 vs 2部入替戦

12月14日 熊谷スポーツ文化公園サブグラウンド

飯能セボジータス(1部6位) 5 - 0 FC elf(2部プレーオフ勝者)

※飯能セボジータスが1部残留

#### 第6回埼玉県・栃木県社会人サッカー連盟交流戦

12月14日 熊谷スポーツ文化公園陸上競技場

埼玉県2部リーグ選抜 3 - 3 栃木県2部リーグ選抜

埼玉県1部リーグ選抜 4 - 1 栃木県1部リーグ選抜

#### 第17回東京都・埼玉県社会人リーグ選抜交流戦

1月18日 駒沢陸上競技場

埼玉県リーグ選抜 1 - 1 東京都リーグ選抜

### 3種

#### 2008年第1回埼玉県ユース(U-15)サッカーリーグ

##### ●最終結果

順位	チーム名	勝	分	負	勝点	得失点差
1	FC CORUJA	6	1	0	19	+16
2	三郷ジュニアユースFC	5	2	0	17	+12
3	クマガヤSC	4	1	2	13	+5
4	埼玉栄中学校	2	1	4	7	+1
5	HAN FC	2	1	4	7	-2
6	フェスタFC	2	1	4	7	-13
7	狭山ジュニアユースFC	1	3	3	6	-8
8	所沢ジュニアユースSC	0	2	5	2	-11

#### 2008年第2回埼玉県ユース(U-14)サッカーリーグトップリーグ

##### ●12月6日現在

順位	チーム名	勝	分	負	勝点	得失点差
1	FC深谷	5	1	1	16	+9
2	クマガヤSC	5	0	1	15	+16
3	武南ジュニアユースFC	4	1	1	13	+15
4	狭山ジュニアユースFC	4	1	1	13	+5
5	GRANDE FC	3	0	3	9	+1
6	フォルチFC	1	1	5	4	-4
7	さいたま田島中学校	1	0	5	3	-17
8	本庄南中学校	0	0	6	0	-25

#### 第18回埼玉県クラブユース(U-15)サッカー選手権大会

9月15日～11月23日

チーム名	対戦相手	スコア
浦和レッズ	三郷Jr	0 - 2
三郷Jr	プリメイロ	1 - 3
プリメイロ	エステレーラ	0 - 3
エステレーラ	フェスタ	0 - 2
フェスタ	GRANDE	2 - 0
GRANDE	KASUKABE	0 - 4
KASUKABE	HAN	4 - 1
大宮アルディージャ	武南Jr	1 - 0
武南Jr	狭山Jr	0 - 1
狭山Jr	K's	2 - 2
K's	東川口FC	1 - 1
東川口FC	コルージャ	0 - 2
コルージャ	アレグレ	1 - 2
アレグレ	カムイJr	2 - 1

※優勝はフェスタFC

#### 第37回埼玉県サッカー少年団中央大会

11月9日～11月29日 埼玉スタジアム第2ほか

チーム名	対戦相手	スコア
浦和三室SSS	GETかみたのSS	2 - 0
GETかみたのSS	毛呂山SS	1 - 0
毛呂山SS	上福岡少年少女SC	0 - 8
上福岡少年少女SC	ユベントスJrFCSS	2 - 2
ユベントスJrFCSS	宮本SSS	1 - 1
宮本SSS	松原FCSS	1 - 2
松原FCSS	所沢SCJr	0 - 4
所沢SCJr	江城南SS	1 - 6
江城南SS	西武ウイングスSCSS	0 - 0
西武ウイングスSCSS	新座片山FCS	0 - 0
新座片山FCS	浦和尾間木SSS	0 - 1
浦和尾間木SSS	新座エースFC	2 - 2
新座エースFC	チャレンジSC	0 - 0
チャレンジSC	大宮早起きSSS	0 - 0
大宮早起きSSS	蕨市北町SSS	2 - 1

※優勝は江城南SC



決勝 江城南SSS - 上福岡少年少女SC

### 女子

#### 第1回(財)埼玉県サッカー協会会長杯(スーパーカップ)

12月21日、23日 武蔵丘短大グラウンド

武蔵丘短期大学(関東リーグ) 4 - 0 埼玉平成高校(県選手権2位)

尚美学園大学(県選手権優勝、県リーグ優勝) 1 - 7 浦和レッズレディース JrY(関東リーグ)

●決勝 浦和レッズレディースJrY 3 - 2 武蔵丘短期大学

※浦和レッズレディースジュニアユースが初優勝

### 埼玉県女子リーグ

#### ●最終結果

順位	チーム名	勝点	試合数	勝	分	負	得失差
1	尚美学園大学	39	14	13	0	1	+86
2	エルフェン・マリ	31	14	9	4	1	+30
3	SEフィリアFC	25	14	8	1	5	+3
4	FC.JAM-G	22	14	7	1	6	±0
5	大宮エンジェルス	22	14	7	1	6	-5
6	上福岡女子SC	17	14	5	2	7	+1
7	埼玉大学女子	4	14	1	1	12	-53
8	妻沼毎日FC	3	14	1	0	13	-62

### 埼玉県U-15女子リーグ

#### ●最終結果

順位	チーム名	勝	分	負	勝点
1	大宮FC U-15	18	1	0	55
2	浦和レッズJr	18	0	1	54
3	河内ジュベニール	15	2	2	47
4	大宮FC U-14	14	2	3	44
5	戸南ボンバーズ	13	1	5	40
6	FC JAM-G	11	3	5	36
7	川口スピリッツ	10	1	8	31
8	大宮FC U-13	9	4	6	31
9	吉見エスカーラ	9	3	7	30
10	浦和ラッキーズ	8	3	8	27

順位	チーム名	勝	分	負	勝点
11	AC館林フェリス	8	2	9	26
12	WS.JW昭和	8	1	10	25
13	FC熊谷女子	7	3	9	24
14	越谷レディースF	6	4	9	22
15	白岡SCL	5	4	10	19
16	SEフィリアFC	5	1	13	16
17	SOCCER KOZOH	3	2	14	11
18	三郷フェアリーズ	2	1	16	7
19	川越レディース	2	0	17	6
20	上里深谷秩父	0	0	19	0

### シニア

#### 南部リーグ

#### ●最終結果

順位	チーム名	勝	分	負	勝点
1	所沢	13	0	1	39
2	新明	13	0	1	39
3	NTT	10	1	3	31
4	浦和	8	2	4	26
5	東春	7	3	4	24
6	パルス	7	1	6	22
7	川口	6	2	6	20
8	蕨	6	1	7	19
9	川越	6	0	8	18
10	与野	5	2	7	17
11	越谷	5	2	7	17
12	鴻巣	4	1	9	13
13	大宮	4	1	9	13
14	八潮	1	2	11	5
15	戸田	1	0	13	3

#### 県50リーグ

#### ●最終結果

順位	チーム名	勝	分	負	勝点
1	NTT	11	4	0	37
2	本庄	11	3	1	36
3	与野	9	4	2	31
4	パルス	8	6	1	30
5	東松山	8	4	3	28
6	大宮	7	4	4	25
7	東春	6	3	6	21
8	熊谷	5	5	5	20

順位	チーム名	勝	分	負	勝点
9	深谷	4	6	5	18
10	川越	4	6	5	18
11	鴻巣	3	6	6	15
12	蕨	3	4	8	13
13	川口	2	6	7	12
14	所沢	2	3	10	9
15	セントラル	2	2	11	8
16	戸田	1	2	12	5

### 県60リーグ

#### ●最終結果

順位	チーム名	勝	分	負	勝点	得失点差
1	FFC	7	3	2	24	+15
2	パルス	7	3	2	24	+10
3	ポラリス	2	3	7	9	-8
4	Gファイター	2	3	7	9	-13

### 2008年度プレシニアフェスタ

1月11日 埼玉スタジアム第3グラウンド

#### ●Over50 (50リーグ1位と50シニア選手権1位)

NTTシニア 1-0 与野シニア

#### ●第1回(財)埼玉県サッカー協会会長杯兼第4回チャンピオン大会

東松山オールパワーズ 3-0 所沢バッカース

#### ●Over60 (60リーグの1位と2位)

FFC 4-1 パルス

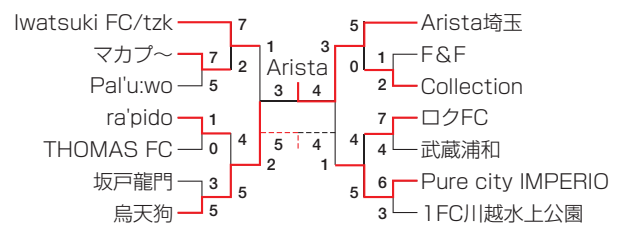
※FFC……大宮、戸田、与野、蕨の合同チーム

### フットサル

#### PUMA CUP 第14回全日本フットサル選手権大会埼玉県大会

10月5日~12月20日 富士見市立市民総合体育館

#### ●決勝トーナメント



※優勝した Arista 埼玉は関東大会に出場する

## 大会記録 ● 県外大会

### 女子

#### 2008年度第14回関東女子サッカーリーグ

順位	チーム名	勝点	試合数	勝	分	負	得失差
1	日本体育大学	37	14	12	1	1	+47
2	早稲田大学	27	14	9	0	5	+20
3	日テレ・メニーナ	26	14	8	2	4	+13
4	神奈川大学	23	14	7	2	5	+5
5	浦和レッズJr	18	14	5	3	6	±0
6	横須賀シーガルズ	13	14	4	1	9	-37
7	武蔵丘短期大学	12	14	3	3	8	-21
8	東京女子体育大学	4	14	0	4	10	-27

#### 第4回関東高校女子サッカー大会

11月15日~23日 尚美学園大学ほか

- 1回戦 久喜高校 4-0 大和高校  
 埼玉栄高校 1-1 晴海総合高校  
4PK5  
 浦和西高校 1-3 横浜翠陵高校  
 埼玉平成高校 13-0 宇都宮中央女子高校
- 2回戦 本庄第一高校 0-0 大清水高校  
4PK3  
 久喜高校 3-0 日立第二高校  
 埼玉平成高校 0-1 飛鳥高校
- 準々決勝 本庄第一高校 2-3 文京学院高校  
 久喜高校 1-3 日本航空高校

※優勝は日本航空高校(山梨)

## 第21回関東少女サッカー大会

11月29日、30日 栃木県那須スポーツパーク中央グラウンドほか

### ●予選リーグ Aグループ

順位	チーム名	勝	分	負	勝点	得失点差
1	川越女子ジュニアサッカークラブ	1	1	0	4	+4
2	NPO 横浜スポーツアンドカルチャークラブ	1	1	0	4	+2
3	吉井レッドスパローズ	0	0	2	0	-6

### ●予選リーグ Cグループ

順位	チーム名	勝	分	負	勝点	得失点差
1	戸木南ボンパースFC	2	0	0	6	+19
2	河内SCジュベニール	1	0	1	3	-10
3	大崎クラブすみれ	0	0	2	0	-9

### ●決勝トーナメント

準決勝 川越女子ジュニア SC 1-5 バディ FC  
 戸木南ボンパース FC 4-0 新林レディース  
 3位決定戦 川越女子ジュニア SC 3-0 新林レディース  
 決勝 戸木南ボンパース FC 0-1 バディ FC

※優勝はバディ FC (東京第1代表)

## シニア

### 第2回関東シニアサッカー選手権大会 (Over 50)

11月29日、30日 群馬県営サッカー場ほか

#### ●予選リーグ A組

順位	チーム名	勝	分	負	勝点	得失点差
1	高麗サッカークラブ 50	3	0	0	9	+5
2	FC前橋 50	2	0	1	6	+2
3	LAZOS KOGA FC	1	0	2	3	±0
4	本庄アイベックス	0	0	3	0	-7

※優勝は高麗 SC (東京)

### 第9回全国シニア関東予選大会 (Over 60) 兼 第3回関東シニアサッカー選手権大会

11月29日、30日 市原スポレクパーク

#### ●予選リーグ A組

順位	チーム名	勝	分	負	勝点	得失点差
1	千葉県代表	2	1	0	7	+8
2	東京都代表	2	1	0	7	+4
3	埼玉県代表	0	1	2	1	-5
4	栃木県代表	0	1	2	1	-7

※優勝は千葉

### 第2回関東シニアサッカー選手権大会 (Over 40)

12月13日、14日 栃木県グリーンスタジアム

#### ●予選リーグ B組

順位	チーム名	勝	分	負	勝点	得失点差
1	西湘Wings.FC (神奈川)	2	0	1	6	+6
2	FC浦和シニア	2	0	1	6	±0
3	緑町シニアスター (千葉)	2	0	1	6	-1
4	総和マスターズFC (茨木)	0	0	3	0	-5

※優勝は山梨マスターズ

## フットサル

### 関東フットサルリーグ2部

#### ●最終結果

順位	チーム名	勝	分	負	勝点	順位	チーム名	勝	分	負	勝点
1	Arista埼玉	9	1	1	28	7	三栄不動産FC宇都宮	5	0	6	15
2	ZOTT	8	1	2	25	8	NOVO MENTE	5	0	6	15
3	Iwatsuki Futsal Club/tzk	7	2	2	23	9	SELECTIVO de OHRA	4	1	6	13
4	KASHIWA TOR'08	6	1	4	19	10	UFCJAZZYSPOORT新横浜	4	0	7	12
5	NJ FantarsSALL-TRAP	5	1	5	16	11	ミリオネア横浜	3	0	8	9
6	Snr EAGLES 千葉	4	3	4	15	12	VEGARRA FC 千葉	1	0	10	3

※優勝した Arista 埼玉は1部に昇格

## ■技術委員会より

### “出前講座”やっています

技術委員会は、08年からのSFA「5ヵ年計画」に基づき、中体連の指導者を対象に、D級コーチ養成講習会を“出前”で開催しています。11月22、23、29日を使い、越谷・八潮地区の8名に受講してもらいました。気軽に事務局まで、ご連絡ください。お待ちしております。

### フジパンCUP 第19回関東選抜少年サッカー大会

12月6日、7日 レッスランド

#### ●予選リーグ

順位	3組	勝	分	負	勝点	順位	5組	勝	分	負	勝点
1	栃木県TC	2	1	0	7	1	埼玉県U-12SP	3	0	0	9
2	埼玉県U-12DX	2	0	1	6	2	長野県選抜	2	0	1	6
3	山形県選抜	1	1	1	4	3	レタドル茨城TC	1	0	2	3
4	群馬WEST	0	0	3	0	4	福島県選抜U-12	0	0	3	0

#### ●決勝リーグ

順位	A組	勝	分	負	勝点	得失点差
1	神奈川TC	2	0	0	6	+10
2	埼玉U-12DX	1	0	1	3	-5
3	埼玉U-12SP	0	0	2	0	-5

※優勝は神奈川トレセン

### 2008年第5回関東女子U-15トレセンリーグ

#### ●1月10日現在

順位	チーム名	勝	分	負	勝点	得失点差
1	神奈川県トレセン	5	1	0	16	+36
2	茨城県トレセン	4	0	0	12	+24
3	埼玉県トレセン	3	2	1	11	+9
4	千葉県トレセン	3	1	2	10	+4
5	栃木県トレセン	3	0	3	9	-3
6	山梨県トレセン	2	0	4	6	-4
7	東京都トレセン	2	0	2	6	+2
8	群馬県トレセン	1	0	5	3	-27
9	長野県トレセン	0	0	6	0	-41

## ■審判委員会より

### おめでとう、1級審判合格 ～塚田智宏氏 (三郷高校)～

この12月、新たに塚田智宏氏が1級審判に合格した。塚田氏は29歳。春日部・大畑少年団→同中野中→越谷南高→日本体育大学を経て、県教諭となった。02年に2級に合格し、05年に一度1級にチャレンジした経験を持っている。

今度が2度目。そんな中ある先輩から辛辣な意見をもらった。

「お前は選手を見下している、と言われたんです。衝撃的でしたが、普段からよく見てくれている人からの言葉でしたから、すんなり受け入れることができました。そこで言葉遣い、仕草、振る舞いなどに気を遣うようになりました。そして選手はどんな年代であっても選手なんだと思い、大人として扱うようにしました」

謙虚になることもまた、1級審判として持ち合わせなければならない要素。そして、合格へ。

「1級は目標でした。やるからには責任のある試合、Jの試合を任せられる審判になりたいと思います。また1級として活動することで、サッカーに関する考えは幅広くなるでしょう。そういうものを指導している選手にも還元できればと考えています。」

ここまで、どんな試合も自分のためになりました。そういう機会を与えていただいた方々、直接的に、間接的に世話になった皆さんにお礼を言いたいと思います。ありがとうございました。そして、これからもよろしくお祈りします」



## 県社会人連盟・拡大事業委員会開催される ～天沼達也事業委員長に聞く～

去る12月14日、熊谷スポーツ文化公園にて、表題の会議が行われた。関東リーグ、県リーグ1～3部の代表者と社会人連盟役員にSFAからも参加して、84名もの大人数で行われた。

—今回、多くの皆さんに集まっていた意図はどういうものだったんですか？

「基本的には08年の反省です。いろいろな意見を聴き、社会人連盟の中で取り入れたり、問題があれば解決していきたいと思ってのことです」

—具体的には、どのような話が出ましたか。

「グラウンドがない(苦笑)。SFAとともに考えてほしいという要望が出ました。ただ新しく造るのは大変ですから、学校のグラウンド、行政が持っているグラウンドを使いやすくできるような配慮は考えていかなければならないでしょう。

次はユニフォームの規定。今、審判と同じように見える黒と紺は止めてほしいと言っていますが、認めるかどうか。ジャッジする上で難しくなりますから、遠慮してもらっています。

あとは審判の育成。4級を持っていても『できない』では意味が

ありません。今まで連盟、SFAに任せていましたが、もうチームで育成しなければ。さらには飛び級の問題、県3部までマッチコミッショナーを置くかどうか……」

—リーグのチーム数の問題もありますね。特に1部は「慌ただしい」という声も聞こえてきます。

「08年度から12チームの1回戦総当たりから、10チームの2回戦総当たりしました。確かに10チーム中上位5チームは関東大会(関東リーグ昇格の入れ替え戦)に行き、下位4チームは自動降格です。6位だけが何もない状態ですからね……。ただ、09年もこのままで行きたいと思っています」

—これからの予定は。

「検討事項は委員会で検討し、理事会を経て、3月1日の代議員会で報告したいと思っています。よりよいリーグ運営のために、今後ともご理解とご協力をお願いします」



## インフォメーション

### ●SFAスポーツマネージャーズカレッジ・SFA公開講座開催 「世界・日本・地域におけるスポーツマネジメント」

「地域とともに歩む 大宮アルディージャ」

大宮アルディージャ代表 渡邊誠吾氏

「サッカービジネスの世界」

電通サッカー事業局 プロジェクト・マネージャー 平野宣行氏

2月14日(土)14時～

於 : 埼玉県教育会館(さいたま市浦和区高砂3-12-24)

定員 : 180名(先着順)

受講料 : 2,000円(当日払い)

申込 : HPから申込書をダウンロードしSFAへ

※C級ライセンス保持者にはリフレッシュポイント5が付与されます。

### ●「埼玉サッカー100年史」発刊

12月の終わりになってしまいましたが、全登録チームに対して「埼玉サッカー100年史」(DVD2枚組)を発送させていただきました。もうご覧いただけましたでしょうか。文章編には「輝く埼玉サッカー75年史」、映像編には11月に開催した記念パーティーの様相も収録しております。古い埼玉新聞も収録していますので、お楽しみください。なお、若干の残数があります。希望者には実費2,100円(送料・消費税込)で頒布します。詳細につきましては事務局までお問い合わせください。

さっそくですが、一部修正のお知らせです。

・U-15クラブ連盟役員 競技委員長

誤 小西清克 → 正 小林道康

・これまでの3種クラブ～座談会

誤 市川公一(草加FC) → 正 市川公一(草加西町FC)

・4種委員会委員・クラブ連盟代表

誤 佐藤桂良 → 正 根岸貞夫

※ 関係各所にご迷惑をおかけしました。

## 編集後記

●皆様におかれましては、新たな気持ちで新年をお迎えのこととお喜び申し上げます。本県では新春に高校サッカー全国大会が開催されており、選手の熱い戦いの姿に感動するとともに新年から出動された役員の皆様に感謝申し上げます。迎えました本年も、皆様にとりまして実り多き年となりますようお祈り申し上げます。(高橋)

●年末年始にかけて行われた大会で、指導者仲間や教え子が監督として大会で活躍しました。うれしい世代交代です。(坂庭)

●自転車で片道30分の通勤を徒歩25分と電車1駅にかえ、1年ちょっと経ちました。その結

果…体重&体脂肪が減!今年も頑張って歩きたいと思います!(こいち)

●1月末で協会を退職することとなりました。力不足で行き届かない点多々あったかと思いますが、これまで様々な所でお世話になりました皆様にご心より御礼申し上げます。有難うございました。(ほうしと)

●年が明けて新たな気持ちで～と思いつつ、1月ももうすぐ終わろうとしています。流れるように過ぎていく毎日になっているので、まずは自分で時間を作るように意識していきたいですね!(かのう)

●関東初のSMCサテライト講座 in埼玉(SFA共

### ●指導者講習会開催のご案内

期日 : 平成21年3月15日・日曜日

時間 : 9:00開場、9:30開演

場所 : 岩槻駅東口コミュニティセンター 3階

(東武野田線岩槻駅下車徒歩0分)

・9時30分～

テーマ : 「サッカー指導におけるコミュニケーションについて」

講師 : 長島猛人氏(浦和一女教諭)

・11時00分～

テーマ : 「クラブのリスクマネジメント」

講師 : 谷塚 哲氏(REGISTA 有限責任事業組合 代表)

受講料 : 無料。一般の皆さんにも開放しています。C級ライセンス保持者には、リフレッシュポイント5がつきますので、3月13日までに、県協会指導者養成部 坂庭までメールかFAXでご連絡ください。

メール sakaniwa@saitamafa.or.jp

FAX 048-834-2004

なお、定員は150名(先着順)

問合せ先 : (財)埼玉県サッカー協会 坂庭まで(048-834-2002)

### ●飯能ブルーダー、名称変更

今年度、関東1部リーグに昇格する飯能ブルーダーが、AC Almaleza(エーシー・アルマレッザ)と、チーム名を変更した。スペイン語の「alma」(魂)と「maleza」(雑草)を合わせた造語で、元プロ選手や有名な選手がいない中で、しっかり大地に根を張る雑草のように成長してきた自分たちを象徴するクラブ名とのこと。また、今まで以上に地域に根差したクラブ作りを目指す意味も込められているという。更なる飛躍を期待しています。

同講座含む)も30名を越す応募をいただきました。ありがとうございます。既にマネジメントを行っている方、これからという方、クラブや少年団、連盟役員の方など様々な方が一緒になって取り組む講座になりそうです。その様子もSFA Newsでご紹介できればと思いますので、お楽しみに!!(小豆澤)

●JFAは2009年度から3年間をかけ、47都道府県で小・中・高校の各年代の公式リーグ戦を導入する方針を固めた。埼玉県第4種リーグ戦は今年で3年目を迎えます。勝っても、負けても…。(栗島)